



## 2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月8日

上場会社名 株式会社グローバルインフォメーション 上場取引所 東  
 コード番号 4171 URL <https://corporate.gii.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 悟  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長 (氏名) 杜山 悦郎 (TEL) 044-952-0102  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 2022年9月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年12月期第2四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	1,554	13.6	365	25.9	398	26.4	274	27.3
2021年12月期第2四半期	1,368	—	290	—	315	—	215	—

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 274百万円(27.2%) 2021年12月期第2四半期 215百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	93.06	92.78
2021年12月期第2四半期	79.95	73.99

(注) 2020年12月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年12月期の対前年同四半期増減率は記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	2,654	1,953	73.6
2021年12月期	2,529	1,775	70.1

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 1,952百万円 2021年12月期 1,774百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2022年12月期	—	22.50	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,110	17.2	649	25.8	663	19.9	437	21.9	148.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期 2 Q	2,947,500株	2021年12月期	2,943,500株
② 期末自己株式数	2022年12月期 2 Q	41株	2021年12月期	41株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期 2 Q	2,946,437株	2021年12月期 2 Q	2,694,883株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2022年8月24日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページ（<https://corporate.gii.co.jp>）に掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年1月1日～2022年6月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大やロシア・ウクライナ情勢の長期化を背景に資源価格の高騰やサプライチェーンの混乱が見られ、金融資本市場においても急激な円安が進む等、経済情勢は依然として先行き不透明な状況が続いております。日本国内においては、3回目のワクチン接種が進み、経済・社会活動の段階的な回復が期待される一方、感染再拡大の懸念もあり、依然として予断を許さない状況となっております。

そうした中、当社が属する市場調査レポート出版業界においては、最新の市場動向調査レポートに対するニーズが益々高まっております。一方で、インド、中国系の調査出版会社の台頭や調査出版社自身による直販部門のシェア拡大等が見られ、事業環境は常に変化しております。

このような状況の下、当社は当連結会計年度を初年度とした3か年の中期経営計画『GII Vision 2024』に基づき、商品面では、幅広い顧客ニーズに対応するため、WEBサイト掲載レポートラインナップの拡大に向け、外注業者の人員体制を強化いたしました。また、販売面では、ユーザビリティの向上を図るため、レポート本文の翻訳を行うAI翻訳ツールの無償提供を開始いたしました。4月にはコーポレートロゴを刷新し、各種WEBマーケティング施策と合わせて、更なる認知度拡大に向けた情報発信に努めております。

株式会社ギブテックにおいては、LPWA通信機器の製造販売ならびにLPWAを用いたIoTネットワークに係るコンサルティング・技術サポートを行っており、様々な分野での用途拡大に向け、事業展開しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,554,566千円（前年同期比13.6%増）、営業利益は365,696千円（前年同期比25.9%増）、経常利益は398,751千円（前年同期比26.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は274,198千円（前年同期比27.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(市場・技術動向に関する情報提供事業)

当セグメントは、取扱商品・サービスの違いにより、市場調査レポート事業、年間情報サービス事業、委託調査事業及び国際会議・展示会事業の4つに区分されております。以下には事業区分別の業績について記載いたします。

#### (a) 市場調査レポート事業

当社の主力である市場調査レポート事業は、AI翻訳ツールの無償提供や、各種WEBチャネルを活用した集客施策を実施してまいりました。国内部門においては、引き続き市場調査レポートの受注は好調に推移しており、前年同期の売上高を上回りました。海外部門においては、ヨーロッパ支店の売上高が前年同期を下回るものの、韓国支店、台湾支店が堅調に推移しており、海外部門全体では売上高が前年同期を上回りました。

この結果、市場調査レポート事業全体では、前年同期比12.9%増の1,312,462千円となりました。

#### (b) 年間情報サービス事業

年間情報サービス事業は、本社部門の売上高が前年同期と比較して下回るものの、海外部門の主要である韓国支店が好調に推移しており、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、年間情報サービス事業全体では、前年同期比10.9%増の74,360千円となりました。

#### (c) 委託調査事業

委託調査事業は、本社部門においては、高額な委託調査案件の計上が前年同期と比較して増加しており、売上高が前年同期を上回りました。海外部門においては、委託調査案件の受託件数が増加基調に推移しており、売上高が前年同期を大きく上回りました。

この結果、委託調査事業全体では、前年同期比39.1%増の133,541千円となりました。

#### (d) 国際会議・展示会事業

国際会議・展示会事業は、国際会議・展示会が再開されるまで、人員等のリソースを他事業に振り向けており、本社部門、海外部門の両方において、売上高は前年同期を大きく下回りました。

この結果、国際会議・展示会事業全体では、前年同期比52.9%減の1,721千円となりました。

以上より、当セグメントの売上高は前年同期比14.5%増の1,522,086千円となり、セグメント利益（営業利益）は371,302千円となりました。

#### （その他事業）

当セグメントにおきましては、株式会社ギブテックにおけるIoT向け無線通信方式であるLPWA通信に関する製品の製造販売を主な事業にしております。早期の本格的な量産化に向けて取り組んでおりますが、世界的な半導体不足等の影響を受けたことにより、売上高は前年同期比15.8%減の32,480千円となり、セグメント損失（営業損失）は6,266千円となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、124,616千円増加の2,654,350千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、116,942千円増加の2,558,304千円となりました。この主な要因は、現金及び預金の185,735千円増加の一方で、売掛金の59,890千円減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、7,674千円増加の96,046千円となりました。この主な要因は、繰延税金資産の8,778千円増加等によるものであります。

### （負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、53,306千円減少の701,223千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、60,626千円減少の431,474千円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の15,627千円減少、未払法人税等の41,159千円減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、7,320千円増加の269,749千円となりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の5,748千円増加等によるものであります。

### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、177,923千円増加の1,953,127千円となりました。この主な要因は、利益剰余金の177,064千円増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は73.6%となりました。

### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比べ、185,735千円増加し、2,276,967千円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は239,124千円（前年同期は326,993千円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益398,751千円、賞与引当金の増加26,379千円、売上債権の減少44,187千円、仕入債務の減少9,068千円、法人税等の支払額174,584千円があったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は1,171千円（前年同期は597千円の減少）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出971千円、無形固定資産の取得による支出200千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は96,109千円(前年同期は10,206千円の増加)となりました。これは、株式の発行による収入952千円、配当金の支払額97,061千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の連結業績予想につきましては、前回公表(2022年2月10日付)いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,091,184	2,276,919
売掛金	256,142	196,252
商品及び製品	628	2,184
原材料及び貯蔵品	15,334	12,312
前渡金	62,301	55,742
その他	15,770	14,892
流動資産合計	2,441,361	2,558,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,350	24,225
工具、器具及び備品（純額）	2,681	2,596
土地	12,939	12,939
有形固定資産合計	39,971	39,761
無形固定資産		
商標権	181	169
ソフトウェア	2,982	2,435
その他	465	465
無形固定資産合計	3,629	3,070
投資その他の資産		
繰延税金資産	18,288	27,067
その他	26,482	26,147
投資その他の資産合計	44,770	53,214
固定資産合計	88,372	96,046
資産合計	2,529,734	2,654,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	95,231	79,603
未払金	13,799	9,642
未払法人税等	169,767	128,608
未払消費税等	62,793	58,032
前受金	116,509	103,654
賞与引当金	4,822	31,202
その他	29,175	20,729
流動負債合計	492,100	431,474
固定負債		
退職給付に係る負債	19,487	21,059
役員退職慰労引当金	242,942	248,690
固定負債合計	262,429	269,749
負債合計	754,529	701,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	162,021	162,497
資本剰余金	141,283	141,759
利益剰余金	1,471,265	1,648,329
自己株式	△68	△68
株主資本合計	1,774,501	1,952,517
非支配株主持分	702	609
純資産合計	1,775,204	1,953,127
負債純資産合計	2,529,734	2,654,350

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,368,106	1,554,566
売上原価	742,449	821,082
売上総利益	625,656	733,483
販売費及び一般管理費	335,208	367,787
営業利益	290,448	365,696
営業外収益		
受取利息	106	143
為替差益	19,814	24,198
債務勘定整理益	5,234	8,793
助成金収入	185	56
その他	58	1
営業外収益合計	25,400	33,193
営業外費用		
上場関連費用	266	—
その他	192	138
営業外費用合計	459	138
経常利益	315,389	398,751
税金等調整前四半期純利益	315,389	398,751
法人税、住民税及び事業税	113,777	133,424
法人税等調整額	△13,835	△8,778
法人税等合計	99,941	124,645
四半期純利益	215,447	274,105
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△93
親会社株主に帰属する四半期純利益	215,447	274,198

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	215,447	274,105
四半期包括利益	215,447	274,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,447	274,198
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△93

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	315,389	398,751
減価償却費	1,725	1,834
敷金償却	334	334
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,333	26,379
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	598	1,572
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,468	5,748
受取利息及び受取配当金	△106	△143
助成金収入	△185	△56
為替差損益 (△は益)	△29,861	△43,892
売上債権の増減額 (△は増加)	34,210	44,187
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△9,342	1,425
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,640	△9,068
その他の資産の増減額 (△は増加)	246	3,765
その他の負債の増減額 (△は減少)	12,550	△17,328
小計	332,720	413,509
利息及び配当金の受取額	106	143
助成金の受取額	185	56
法人税等の支払額	△6,018	△174,584
営業活動によるキャッシュ・フロー	326,993	239,124
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△297	△971
無形固定資産の取得による支出	△300	△200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△597	△1,171
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	88,892	952
自己株式の取得による支出	△68	—
配当金の支払額	△78,616	△97,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,206	△96,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,861	43,892
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	366,464	185,735
現金及び現金同等物の期首残高	1,517,650	2,091,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,884,114	2,276,967

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、これによる利益剰余金の期首残高へ与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,329,532	38,574	1,368,106	—	1,368,106
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,329,532	38,574	1,368,106	—	1,368,106
セグメント利益又は損失 (△)	295,415	△8,567	286,848	3,600	290,448

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、支払手数料、地代家賃のセグメント間取引の消去3,600千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	1,312,462	—	1,312,462	—	1,312,462
年間情報サービス	74,360	—	74,360	—	74,360
委託調査	133,541	—	133,541	—	133,541
国際会議・展示会	1,721	—	1,721	—	1,721
その他	—	32,480	32,480	—	32,480
外部顧客への売上高	1,522,086	32,480	1,554,566	—	1,554,566
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,522,086	32,480	1,554,566	—	1,554,566
セグメント利益又は損失 (△)	371,302	△6,266	365,036	660	365,696

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、支払手数料、地代家賃のセグメント間取引の消去660千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更による当第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に対する影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。